

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

次世代へ快適な環境を

営業利益率
10%

② 中長期の経営戦略

1. 住環境領域の強化

地域密着の新規開拓と既存顧客フォローで基盤強化。法人営業体制強化で営業拡大。住宅断熱性能向上市場に対応。戸建太陽光をメンテナンス・リフォーム事業と統合。

3. 太陽光発電事業の転換

FIT制度から企業向け自家消費太陽光システムへ営業転換。カーボンニュートラル・電気代削減に寄与。機器交換・アフターメンテナンス強化。部材コストダウン進行。

2. 事業所向け事業の拡大

提携先開拓と既提携先フォローで販路拡大。ドールマンショック等給排水設備保全対策が主力。有害生物防除・HACCP衛生管理サポート等も推進。

4. 資源循環領域の展開

廃プラスチック燃料化で品質向上と効率運営継続。マテリアルリサイクルへ展開。廃棄物一元管理システム販売。再生油Bioと汚泥再生燃料化でカーボンニュートラル貢献。

③ 対処すべき課題

① ESG・サステナビリティ経営

- ・資源循環型社会実現に向け環境事業領域成長に積極取組
- ・持続可能性観点から企業価値継続向上を推進

② 持続的な収益基盤構築

- ・営業力最適化と強化で安定的収益基盤構築
- ・徹底的なコスト削減継続で収益拡大実現

③ 人材・職場環境整備

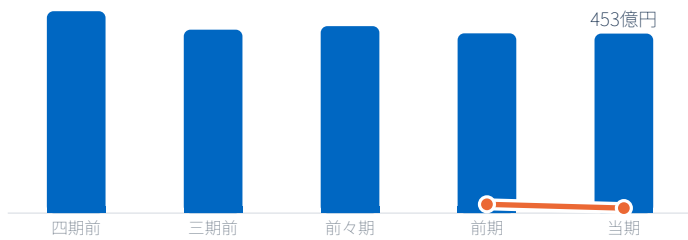
- ・人材育成重視し専門家集団化実現
- ・職場施設整備と人間関係構築で安全安心な環境実現
- ・情報システム刷新で生産性向上と多様な働き方推進

面接で使えるポイント

- ・次世代へ快適な環境を」という企業理念のもと、住環境・資源循環・エネルギーの3領域でイノベーション推進
- ・2050年カーボンニュートラル実現に向け、廃プラスチック燃料化・太陽光発電・マテリアルリサイクル等多角的に展開
- ・2025年10月の持株会社体制移行で、グループ経営と各事業の機動性を両立させ企業価値向上を目指す

証券コード 4651

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
453億円

営業利益率
2.8%

財務健康度
34点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 33.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
480万円

サービス業内 435位/524社

平均年齢
44.5歳

サービス業内 76位/527社

平均勤続
9.7年

サービス業内 151位/527社

女性管理職
6.9%

サービス業内 316位/371社

男性育休
100.0%

サービス業内 44位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 【サニックス資源開発グループ×MINORICA】気候変動に負

